



めざそう！小さな国際人 4日 1～4校時 総合的な学習

《留学生の方(ナイジェリア・インドネシア・パキスタン)とふれあいながら、最も身近な「食文化」から諸外国の文化、生活、習慣、言語などの異文化にふれ、その中から自分たちの共通点や差異を発見する。》という目的のもと異文化体験学習を行いました。全体会前半では、外国の食文化についての話、民族衣装の着付けとファッションショーを行いました。クラスセッションでは学級に留学生1名ずつ入っていただき、交流を行いました。その後、カレー・チャパティ・ラッシーなどの試食をし、全体会後半で留学生の方への質問、生徒から留学生の方へお礼のソーラン節披露など行いました。短い時間でしたが小さな国際人への1歩を踏み出すいい機会になったと思います。お手伝いをいただきました11名の保護者の皆様朝早くからご協力ありがとうございました。



各国の民族衣装を着て 男子



女子



留学生の方と食事もしました



各クラスでも交流会



講師の方へお礼のソーラン節披露



調理中のお母さん方

<生徒感想>

- ・私は民族衣装を着たり、インドネシアの竹の楽器を鳴らしたりと、とても貴重な体験をすることができました。衣装は日本のモンペのようだなと思いました。柄がすごくきれいでした。
- ・衣装や食べ物を通して、異文化というのを実感しました。食べ物では、特にラッシーがおいしくてまた飲んでみたいと思いました。
- ・びっくりしたのは、パキスタンで結婚する時は、親が相手を決め、結婚式で初めて相手の顔を知ることでした。もし、日本でもそうになったら私は絶対に結婚したくない!と思いました。

<お知らせ> 学習発表会の様子が3日の新聞に紹介されました。(裏に記事掲載)

